

学校名	浅口市立寄島小学校
授業者	荒木 佑佳

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「とび出せ！大すきなよりしまの町へ」

1-2. 学年

2 学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科

1-4. 単元の概要

【寄島の町を探検しよう】
 第一次では、子どもたちの発言で出てくるであろう場所の中から、青佐鼻海岸、寄島図書館、寄島漁協組合に探検に行く。実際に寄島の町に出掛けることで、身近な町のことを知り、地域に関心をもつことができるようにする。その際、行き返りの道中にある店や施設、工場などを見付けるようにする。なお、この3か所を選んだ理由として、海は身近であり楽しくてすてきがいっぱいの場所であるという実感を積ませたいこと、図書館では、公共施設の利用の仕方を学べること、漁協では、魚やかきについて知ることで3年生のよりしま学につなげることができるなどが挙げられる。

まず、寄島にあるものとして子どもたちから一番に出てくるのは海であると考えて。昨年度に引き続き、1年生と共に海遊びに行き、海ビンゴや砂遊び、水遊びなどを行って、海の楽しさや魅力を味わえるようにしたい。また、上学年として1年生をリードできるよう活躍の場を意図的に作り、その姿を称揚できるようにする。次に、寄島図書館と寄島漁協組合に探検に行く計画を立てる際、班活動を取り入れ、何をやる場所なのか、どのようなことを調べたいのかを話し合ったり、全体で質問したいことなどを共有したりすることで、一人一人が意欲をもって探検に行けるようにする。探検後は、振り返りカードに見付けたことや感じたことなどを書き、ペアや全体に伝え合う活動を行う。そして、探検で見付けたものや店、施設などを寄島の地図に加えていき、視覚的にも町の知っている場所が増えていくのが分かるようにする。また、寄島図書館や寄島漁協組合の方へお礼の手紙を出す際に、自分たちの見学のために準備をしてくださっていたこと、優しくいろいろなことを教えてくださったことなどを振り返りながら書くことで、「人」への思いを膨らませ、第二・三次の学習へつなぐ。

【町の人のえがおのひみつをしらべよう】
 第二次では、1学期に探検に行った場所を振り返りながら、心に残ったことを発表し合う。その中で、人に関わる発言が出てくると思われる。その際、寄島図書館や寄島漁協組合で働く方や町探検の時ボランティアで自分たちの安全を見守ってくれた方の写真を提示し、その表情に注目して笑顔で接してくれたことや真剣な表情で働く姿などを思い出すことができるようにする。そして、なぜ、そのような表情なのかと疑問を投げかける。「仕事が好きだからかな」「一生懸命働いているからかな」「集中しているからかな」などの予想をし、働く人へ思いを巡らせることで、「聞いてみたい」「もっと調べてみたい」「また探検に行きたい」という意欲を高めていき、2回目の町探検へとつなぐ。ここでは、「人」に焦点を当て、町の人の「えがおのひみつをしらべよう」をめあてに計画をしていく。児童が行きたい場所の中からそれぞれのグループを作り、そこで「見たいこと」「聞きたいこと」「やってみたいこと」を付箋に一人一人が書き、共有し合うことで、自分事として話合いに参加できるようにする。町探検では、仕事をしている人の顔や動きをよく見ること、インタビューをして人柄や仕事に対する思いなどに触れながら、ひみつを調べることができるよ

うに促していく。

【えがおのひみつを伝えよう】

第三次では、これまでの町探検で体験したことや調べたことをまとめ、発表会を行う。まずは、他のグループの友達に向けて、お互いの体験を発表し感想を伝え合う活動を行う。次に、保護者や地域の方へ向けて発表会を行うことを知らせ、どのような発表会にしたいか、何を伝えたいのかを考え、自分たちの意見を出し合うことで、お世話になった人のことを思い浮かべながら発表内容を考えたり表現方法を工夫したりしようという思いを膨らませる。また、伝えたいことが相手にしっかり伝わるように友達と協力して準備を進めるよう促す。グループでペアを作り、発表練習を行うことで、良いところやアドバイスなどを交流し、より良いものへと修正できるようにする。それを生かし、参観日で保護者や地域の方に発表して感想をいただくようにする。さらに、お世話になった方々へ感謝の気持ちを伝えるために手紙やポスターなどを作成して送ることで、その気持ちを表すことができるようにする。

以上のように学習を展開するが、自己肯定感を高めるために、本単元では特に次の点に留意する。

- ・ 自分の学びを振り返り、価値付けしやすくするために、単元のめあてと毎時間のめあてを明確にし、児童の意識と思考の流れに沿ったものとする。
- ・ 本校の自己肯定感の構成要素「素直さ」「自分のよさ」「前向きさ」に関わって、毎時間、特にどの

姿が求められるのかをあらかじめ示すことで、自分の学びと頑張りを捉えやすくする。

- ・ めあてに向けてどのように追究していけばよいのか見通しをもたせることで、自分で追究の仕方を選択して試行錯誤しながら学びに向かえるようにする。
- ・ 協働的な学びとなるようにする。ペアやグループでの話合いや活動を意図的に取り入れるとともに、互いの考えを受け止めて返したりつないだりすることを促すことにより、互いのよさを認め合いながら学びを深められるようにする。また、単元全体を通して、地域の人材と共に活動したり学んだりする場を設けて、関わる多くの方の温かさや知恵に触れることにより、大切にされ期待されている存在であることを実感できるようにする。
- ・ 上述のような姿が見られた場合は、称揚して価値付ける。

なお、全児童を対象に定期的に行う「『よりしま学』についてのふりかえり」を活用して、自己肯定感の高まりを見取っていく。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童の知っている場所の中から町探検に行き、まずはどのようなものや場所があるのかを知り、そこに関わる人々との触れ合いを通して、その良さに気付くことができるようにする。さらに、「もっと調べたい」「他の場所にも行ってみたい」という気持ちを基に町探検を再度行い、そこで働く人々と接することで自分との生活の関わりが分かり、地域に親しみをもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようになることを考えた。また、実際に地域に出て調べたことを伝え合う活動を通して、自分たちの生活が様々な人々に支えられていることが分かり、「町にはすてきな人がいっぱいいるな。」「自分の町が大すきだな。」と実感し愛着をもつ児童を育成したいと考えた。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ 寄島の海遊びや公共施設、店などの町探検を通して、寄島の町や人やもののよさ、それらの関わりに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができる。

【知識及び技能の基礎】

- ・ 寄島の人々、地域及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力の基礎】
- ・ 寄島の町探検を通して出会った人々、地域及び自然に対して、積極的な態度で関わることをすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

1-7. 単元の展開（全42時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ~ 16	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書に書かれている町の様子をよく見て、自分たちの町寄島と似ているところ、自分の町にはないもの、行ってみたいところなどを出し合い、寄島の町探検の計画を考える。 ・ 寄島で実際に行ったことのある場所やその場所の様子などを自分の経験をもとに話し合う。 ・ 低学年の交流活動を深めることもねらいとし、青佐鼻海岸に1年生と行き、海遊びをし、海の楽しさを味わう。 海ビンゴ、砂遊び、ビーチフラッグ、貝殻拾い ・ 寄島の各地区の安全マップを見て、探検の際の交通安全、ルール、マナーについて考える。 ・ 町探検で行く寄島図書館と寄島漁協組合で見たこと、聞きたいこと、約束、持ち物などを話し合い、探検の計画を立てる。 ・ 寄島図書館に探検に行き、公共施設で働く人の話を聞く。マナーや利用の仕方を教えていただき実際に本を借りる。 ・ 探検の振り返りをカードに書き、気付いたことや発見したことなどを共有する。 ・ 寄島漁協組合に探検に行き、地域で働く人の話を聞き、どのような場所なのかを調べる。 ・ 探検の振り返りをカードに書き、気付いたことや発見したことなどを共有する。 ・ 再び青佐鼻海岸に1年生と行き、水遊びを楽しむ。水遊び,砂遊び,海藻拾い 	<p>発言・行動観察</p> <p>発言・行動観察</p> <p>発言・行動観察 【地域ボランティア】</p> <p>ワークシート・発言</p> <p>行動観察・ワークシート</p> <p>発言・ワークシート 【寄島図書館の方】</p> <p>発言</p> <p>行動観察・ワークシート 【寄島漁協組合の方】</p> <p>発言・ワークシート</p> <p>発言 行動観察・発言 【地域ボランティア】</p>

<p>17 ~ 25</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期の町探検を振り返り、お世話になった人や場所を思い起こして、更なる探検への意欲を高める。 ・ 行きたい場所や目的、約束などについて話し合い、探検の計画を立てる。 ・ 行きたい場所をもとにグループを作り、インタビューしたいことを考え、笑顔で働く理由を予想する。 ・ 話し合ったことや自分の考えについて計画カードに記録する。 ・ グループごとに役割分担を決めて、探検の計画を立てる。 ・ インタビューしたり仕事を体験させていただいたりするとき気を付けることを話し合う。 ・ 挨拶の練習をする。 ・ それぞれの場所に探検に行き、笑顔のひみつを調べる。 ・ 教えてもらったこと、やってみて感じたこと、気付いたことなどを整理して、カードに書く。 <p>仕事の大変さや楽しさ、働く人の思いなどについて、グループの友達と自分の考えを伝え合う。</p>	<p>発言</p> <p>発言</p> <p>発言 Yチャート ワークシート</p> <p>ワークシート 発言・行動観察</p> <p>ワークシート 行動観察 発言</p> <p>ワークシート 【地域の店や公共施設の方】 【地域ボランティア】 発表</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験して分かったことをグループごとに友達と協力してまとめる。 ・ 友達に体験したことを発表する。 ・ 地域の方や保護者の方に向けて発 	<p>行動観察 発言 ワークシート</p> <p>発表</p> <p>発言 ワークシート</p>

26 ~	<p>表会をする計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとにどのように表現するか話し合い、発表の準備や練習をする。 紙芝居、実演、動作化、クイズ ペープサート など 	<p>発言 行動観察</p>
42	<ul style="list-style-type: none"> お世話になった方や保護者に発表会の招待状を作る。 ペアグループで発表し、お互いの良いところやアドバイスを出し合う。 さらに良い発表にするために修正したり練習したりする。 地域の方や保護者を招いて参観日に発表会を行う。 発表会を振り返り感想をカードに書く。 町探検でお世話になった方にお礼を伝えることを話し合い、グループごとに方法を決めて書く。 手紙、感謝状、ポスター など 町探検や発表会をして気付いたことや大人になってやってみたい仕事などを話し合い、単元の振り返りをする。 	<p>発言 招待状</p> <p>発表</p> <p>行動観察 発言</p> <p>発表</p> <p>ワークシート</p> <p>発言 行動観察 礼状</p> <p>発言 ワークシート</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

町探検を通してお世話になった方のことを思い浮かべながら、地域や保護者の方に伝えたいことや伝え方で工夫できることを考えることができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 本時のめあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、これまでの町探検を写真を提示しながら振り返り、どんなところへ行ったかを想起させる。その後、調べたことと共に町探検で出会った「町のいい人」を地域や保護者の方に紹介する「えがおいっばい発表会」を行うことを確認し、本時のめあてにつながる。
えがおいっばいはっぴょう会にむけて、計画を立てよう。	
2 紹介する方を選び、伝えたいことを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○本時は特に、「学びの姿」の「素直さ：表現」「前向きさ：協力」を発揮して学んでいくことを知らせる。 ・これまでの町探検でお世話になった方のことを一人一人が思い出せるようにまずはペアで確認させ、全体で共有していく。 ・子どもの発言から出てきた方から顔写真を掲示し、いつどこでお世話になったかを視覚的に確認できるようにする。
<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・図書館司書の東郷さん <li style="width: 50%;">・さぬきやの店長さん・店員さん <li style="width: 50%;">・寄島漁協の加集さん <li style="width: 50%;">・荒川電気の荒川さん <li style="width: 50%;">・サンパレアの職員さん <li style="width: 50%;">・よりしま海鮮市場の店長さん 	
グループで	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介したい方を選び、2～5人程度のグループに分けて活動できるようにする。もし、一人もいないところがある場合は、移動できないか声掛けを行う。 ・伝えたいことは何かと問い掛け、付箋に書いてワー

クシートに貼っていくことで、一人一人の思いや考えを出させることができるようにする。

- ・お店の人に教えてもらったこと。
- ・笑顔で仕事をしている秘密。
- ・働いていてうれしいこと。
- ・働いていて大変なこと。
- ・開店前や開店後の仕事について。
- ・リモコンの修理の仕方。
- ・どんな仕事をしているのか。
- ・一番人気な商品について。

3 発表の仕方やその工夫について考える。

- 自分の考えをもちにくい児童には、町探検のワークシートを見ながらどんなことが心に残っているか問い掛けたり、グループの友達に相談するよう促したりして、自分の考えを表出しやすくする。
- ・前回の友達への発表会をもとに、どのような方法で発表するか、よりよい発表のために工夫できることはないかなどを考えることで相手意識を高められるようにする。
- 友達と互いに意見を出し合ったり、友達の意見に反応しながら聞いていたりする児童を称揚する。
- ・グループごとに、発表の時間を設け、それぞれの伝えたい内容や表現方法を確認する。
- ・本時の学びをを発表することにより、児童の言葉を基にまとめを行う。

4 本時のまとめをする。

町にはいい人がたくさんいるな。その紹介したい人を選んだり班の人と協力して伝えたいことを考えたりすることができた。発表会に向けて準備を頑張りたい。

- 分かったことや考えたこととともに「学びの姿」カードに照らして自分の学びを振り返ることができるようにする。

3. 今回の活動の自己評価

- ・第一次の町探検では、海遊びの楽しさを体感し、児童は改めて寄島の海に親しみをもつことができたと考えられる。また、寄島図書館や寄島漁協組合に行く際には、どんな場所か予想したり質問を考えたりすることで興味をもって調べることができたと共に、この体験を通して、さらにいろいろな場所を探検したいという思いを膨らませることができた。第二次では、「人」に焦点を当て「えがおのひみつ」を調べに町探検に行ったことで、今まで知らなかった働く人の思いに触れることができた。また、仕事の手伝いをさせてもらえるということで、大変意欲的に活動に取り組むことができた。2回の町探検を通して、町にあるものや場所のよさやそこで働く人の優しさに気づき、「寄島っていいな。」「いい人がたくさんいるな。」という思いをもって発表会をすることができた。
- ・町探検で行く場所と他教科との関連を意識して学習を進めることが大切であると感じた。国語科では、4月に学校図書館の利用の仕方やマナーについて学習することを生かして、図書館へ行くことができた。また、海に関わることとして、体育科では、海の生き物をテーマにした表現運動を行ったり、図画工作科の「えのぐじま」では、海に行ったことを想起させ創作したりするなど、相互に関連付けながら学習することで、児童の思考をつなぐことができたと考えられる。
- ・特に本時では、町探検でお世話になった方について紹介するために、グループごとにワークシートを用いて伝えたい内容について付箋に書いて貼った。その話し合いをすることで、一人一人の思いや考えを表現することができた。

4. 今後の課題

- ・本年度は、諸事情により2回目の探検先が4か所と少なく、1グループの人数が多くなってしまった。行き先を増やして、4人ほどの小グループで一人一人が自分事して取り組み、活躍の場を広げられるようにしたい。また、1回目の探検先に、再び行くことができなかつたため、発表グループを再編成する必要があった。発表の工夫改善へのつながりが途切れる児童もいたため、1学期に2学期以降の依頼を早めにしておく必要がある。
- ・本時は、①紹介したい人を決める。②伝えたい内容を考える。③工夫できることを考える。と内容が盛りだくさんだったため、全体で共有する時間がなかった。今回は②までにとどめ、グループの話し合いで一番伝えたいこと考えさせ、それを全体で共有する時間を取った方が学習が深まったのではないかと考える。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

活動は2単位時間くりで行うとよい。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト